

# 新花巻図書館整備基本計画試案検討会議の 検討状況について

生涯学習部新花巻図書館計画室

# I 試案検討会議のこれまでの検討経過

新花巻図書館整備基本計画に記載する内容について、7月12日開催の試案検討会議までで一通りの意見の集約が進んだ。主な検討内容は以下のとおり。

なお個別の試案検討会議の詳細内容は、市ＨＰ等で各回の議事録を公開している。

開催日時	検討内容
第1回（R3.4.26）	障がい者差別解消法への配慮、高齢者を考慮した公共交通機関が利用できる場所の検討 図書館の床面積の根拠、建物の材質、閉架書庫のあり方 等
第2回（R3.5.25）	先人の顕彰、障がい者からの意見聴取、郷土・行政資料、中心図書館としての機能 電子書籍の導入、図書館司書の育成 等
第3回（R3.6.28）	地域資料・古文書などのデジタル化、学校図書館の電算化、ボランティアの連携・取りまとめ、学校司書の配置 幼児施設・学童へのサービス、妊婦を対象としたサービス、地元企業と高校生が話す場、音楽・映像の配信等新しいメディア対応 等
第4回（R3.7.27）	新図書館の開館時間、電子図書・映像資料提供方法、貸出する資料の点数・期間 市内中高生との意見交換会報告、県内図書館の視察報告 等
第5回（R3.10.8）	図書管理システム、複写サービス、学校図書館の蔵書管理、読書思い出帳について、意見の反映の仕方、予約サービスについて ホームページ、延長手続き、職員体制、学校司書の配置、地域人材の育成、市内の読書推進、運営、管理に関すること
第6回（R3.11.12）	運営経費について、司書配置について、施設規模や空間計画について
第7回（R4.3.18）	修正・追記した試案の内容確認、意見の整理状況報告 図書館整備情報を集約したポータルサイトの紹介、オンライントークイベントの開催報告
第8回（R4.4.28）	修正・追記した試案の内容を確認し、試案に掲載するサービス・機能の内容を承認、建設候補地の検討
第9回（R4.4.28）	建設候補地の検討、各候補地の特記事項について確認
第10回（R4.7.12）	建設候補地の検討、建設候補地事務局案の提案、建設候補地の市民説明会開催を提案

### 「新花巻図書館整備基本構想 3 新花巻図書館の整備方針（3）建設場所に関する方針」より

#### （1）図書館としての利便性の確保

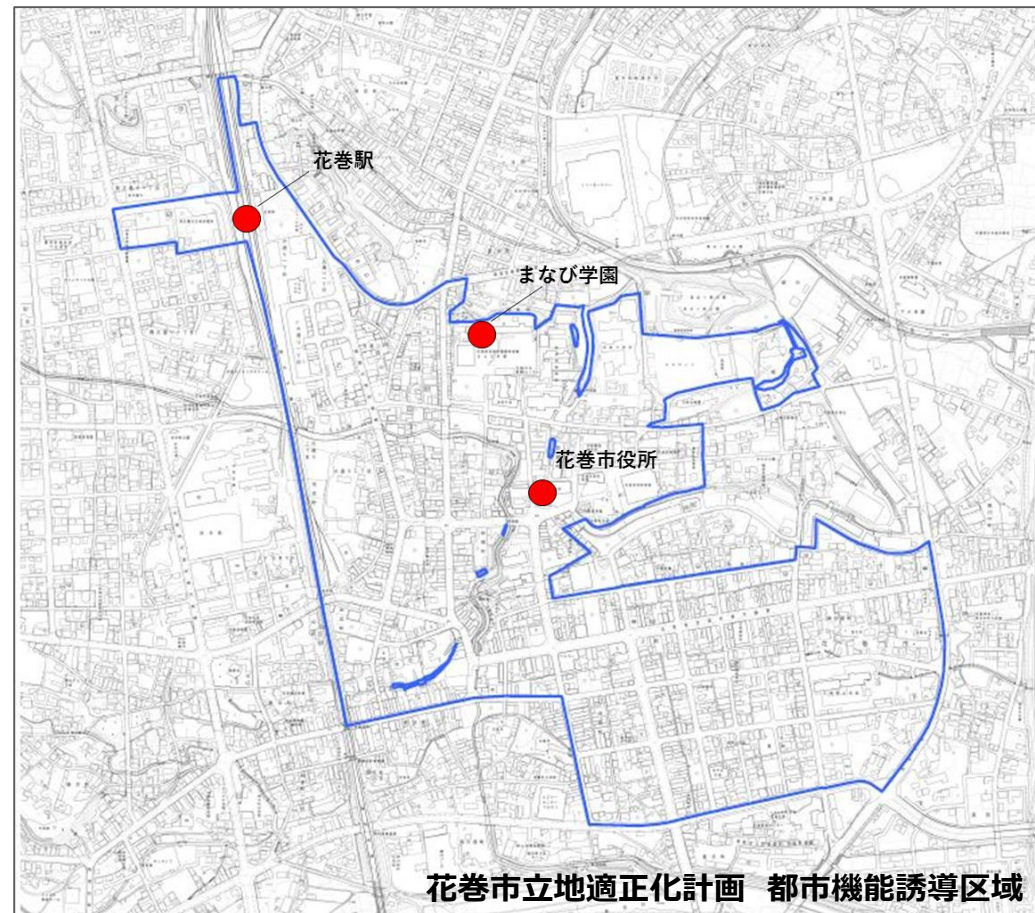
図書館は、市民をはじめとする利用者にとって利用しやすい場所にあるべき。

- 交通アクセスが良くわかりやすい場所
- 市全域から行きやすい場所
- 十分な駐車場が確保できる場所

#### （2）市街地再生に資する施設

図書館は、市街地再生に資する施設としてまちづくりや都市計画とも整合したものとする必要がある。

- 「都市機能誘導区域」内に整備
- 近接施設との連携や他施設との複合化など民間との連携も含めて検討



候補地を数か所選定した上で基本計画において場所を定めることとする。

## (1)新花巻図書館整備特別委員会

- 特別委員会を8回、小委員会を13回開催。
- 市内4か所で意見交換会と参加者アンケートを実施。
- 検討結果を市への提言としてまとめる。

## (2)提言内容

### ①建設場所について

新花巻図書館整備基本構想の建設場所に関する方針に基づき、都市機能誘導区域内へ整備することとし、市が提案する花巻駅周辺及びまなび学園周辺のいずれかとされたいこと。  
なお、決定に当たってはその経過及び理由を明確にし、市民の理解が得られるように努めること。

### ②建設用地について

建設用地は市有地とすること。  
借地に建設することにより、将来にわたる財務負担と、土地利用上における権利関係の不安要素は避けるべきであること。

### ③複合施設について

図書館単独での整備を基本とすること。  
新花巻図書館整備基本構想に盛り込まれた市民のくつろぎと交流スペースとして、飲食コーナーは図書館に必要な機能の一つとして位置づけ、整備を検討されたいこと。

Ⅲ 検討にあたる前提条件の整理 1.基本構想整備方針に基づく比較項目

建設候補地を選定するにあたり、新花巻図書館整備基本構想で示す建設場所に関する方針をもとに、以下のように比較項目を整理する。

(1)図書館としての利便性の確保

図書館は、市民をはじめとする利用者にとって利用しやすい場所にあるべき。

①基本構想に示す事項

- A) 交通アクセスが良くわかりやすい場所
- B) 市全域から行きやすい場所
- C) 十分な駐車場が確保できる場所



②比較項目案

- A) バス・鉄道の交通結節点の駅からの距離（徒歩）
- B) 最寄りのバス停や周辺道路環境
- C) 駐車場の現状及び整備計画

(2)市街地再生に資する施設

図書館は、市街地再生に資する施設としてまちづくりや都市計画とも整合したものとする必要がある。

①基本構想に示す事項

- D) 「都市機能誘導区域」内に整備
- E) 近接施設との連携や他施設との複合など民間との連携も含めて検討



②比較項目案

- D) 現在検討している候補地はすべて区域内
- E) 近接施設の状況

(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

A) J R花巻駅からの距離

約720m、約11分（徒歩4km/1時間）

B) 最寄りバス停や周辺道路環境

ア) バス停

市街地循環バス 花城町

左回り10本 最終17：09、右回り10本 最終17：06

イ) 周辺道路環境

市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線

市道吹張花城町線 等

C) 駐車場

病院跡地に273台整備

図書館分200台増

（ただし距離に課題、B 案右図：近接に12台確保）

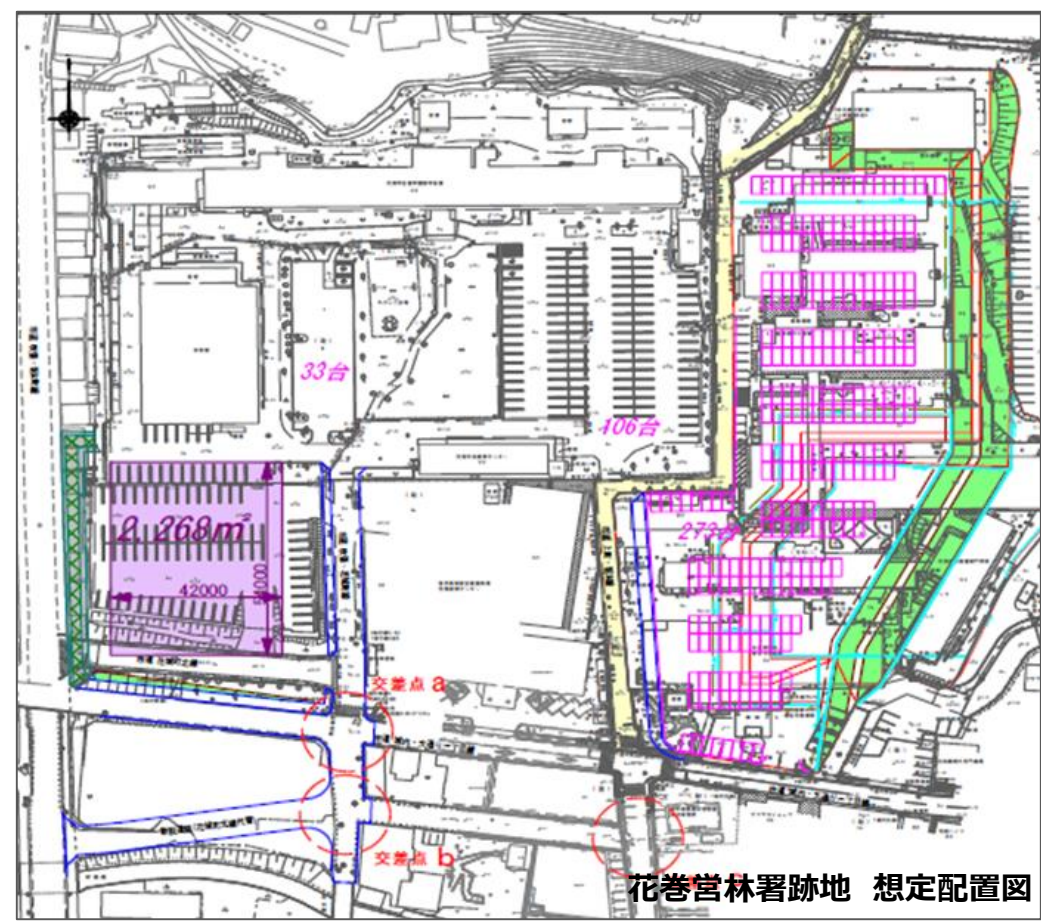
②図書館としての利便性の確保

D) 都市機能誘導区域内

E) 近接施設の利用者数等

まなび学園年間利用者数

R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人



(2)その他特記事項

①総合花巻病院解体工事関係

- 解体工事
- 土地売買交渉
- 人工地盤

②周辺道路関係

- 都市計画道路計画
- 市道城内大通り一丁目線の拡幅  
住民説明と用地交渉が必要。
- 市道吹張花城町線（並木）拡幅

- 西側南側への擁壁整備が必要。
- 近接駐車場を整備した場合（B 案）は  
道路の切り替えを想定。

# IV-1 まなび学園周辺 ウ) まなび学園前

## (1)比較項目

### ①図書館としての利便性の確保

#### A) J R花巻駅からの距離

約770m、約11.5分（徒歩4km/1時間）

#### B) 最寄りバス停や周辺道路環境

##### ア) バス停

市街地循環バス 花城町

左回り10本 最終17：09、右回り10本 最終17：06

##### イ) 周辺道路環境

市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線

市道吹張花城町線 等

#### C) 駐車場

病院跡地に273台整備

図書館分162台増

（ただし、今のまなび学園利用者にとって遠くなる）

### ②図書館としての利便性の確保

#### D) 都市機能誘導区域内

#### E) 近接施設の利用者数等

まなび学園年間利用者数

R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人

## (2)その他特記事項

### ①総合花巻病院解体工事関係

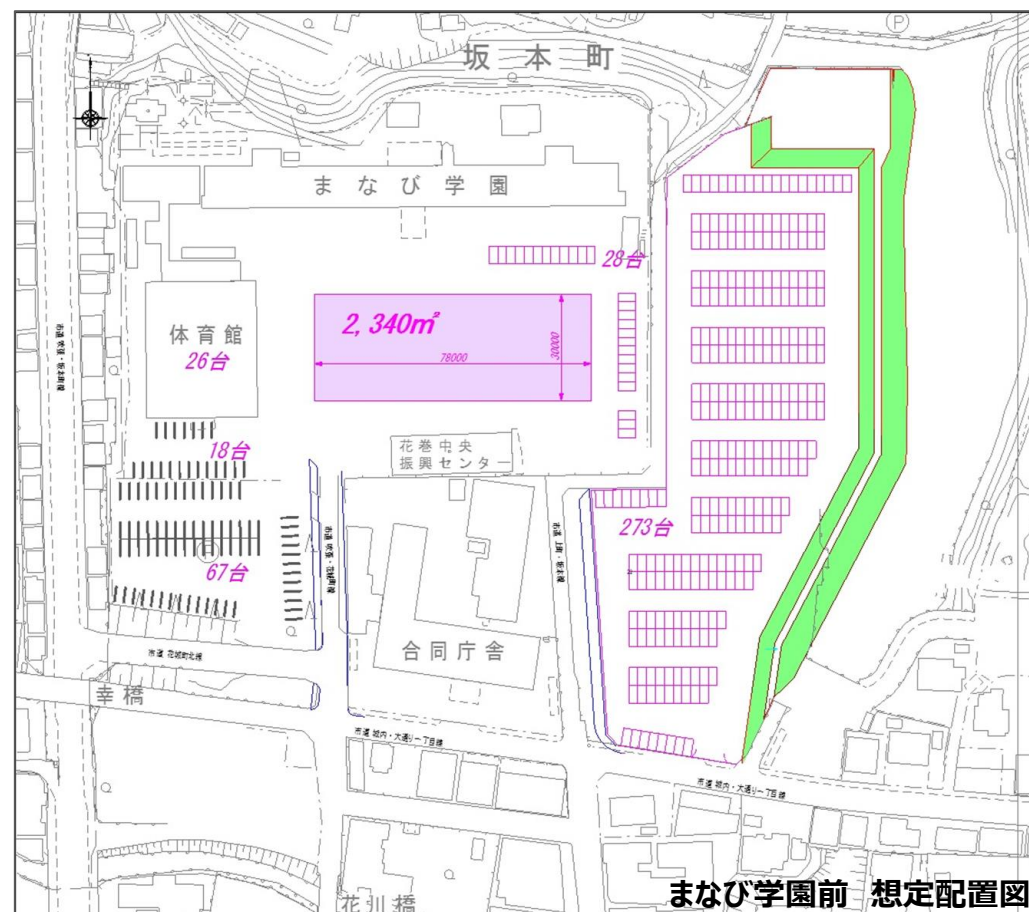
- 解体工事
- 土地売買交渉
- 人工地盤

### ②周辺道路関係

- 都市計画道路計画
- 市道城内大通り一丁目線の拡幅  
住民説明と用地交渉が必要。
- 市道吹張花城町線（並木）拡幅

### ③まなび学園の土地利用

- まなび学園は今後25年程度で解体。  
（長寿命化により80年使用）



## (1)比較項目

### ①図書館としての利便性の確保

#### A) J R花巻駅からの距離

約740m、約11分（徒歩4km/1時間）

#### B) 最寄りバス停や周辺道路環境

##### ア) バス停

市街地循環バス 花城町

左回り10本 最終17:09、右回り10本 最終17:06

##### イ) 周辺道路環境

市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線

市道吹張花城町線 等

#### C) 駐車場

病院跡地に273台整備

図書館分197台増

### ②図書館としての利便性の確保

#### D) 都市機能誘導区域内

#### E) 近接施設の利用者数等

まなび学園年間利用者数

R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人

## (2)その他特記事項

### ①総合花巻病院解体工事関係

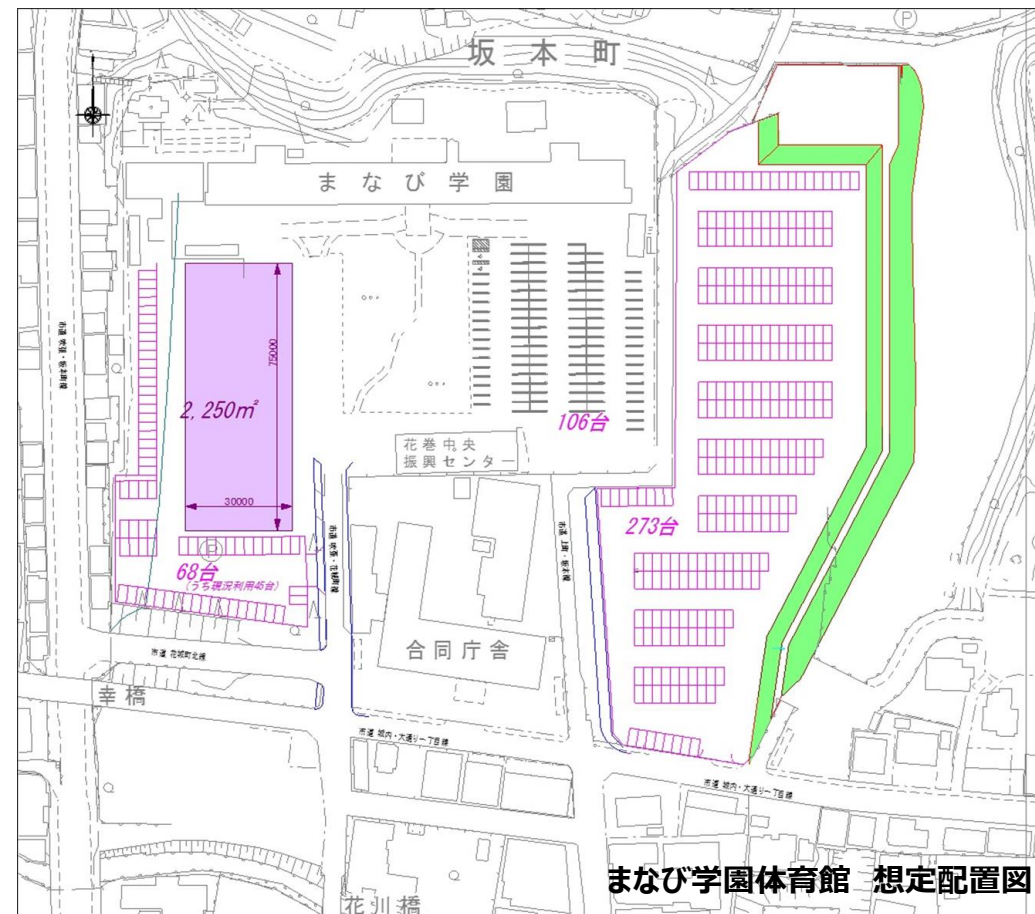
- 解体工事
- 土地売買交渉
- 人工地盤

### ②周辺道路関係

- 都市計画道路計画
- 市道城内大通り一丁目線の拡幅  
住民説明と用地交渉が必要。
- 市道吹張花城町線（並木）拡幅

### ③まなび学園体育館との関係

- 体育館は利用率が高く解体する場合は、代替施設の建設が必要。  
体育館利用者数 R1:919件（2.9件/日）  
利用者数19,858人（63.44人/日）
- まなび学園と同様25年程度で解体。



# IV-1 まなび学園周辺 オ) 総合花巻病院跡地

## (1)比較項目

### ①図書館としての利便性の確保

#### A) J R花巻駅からの距離

約770m、約11.5分（徒歩4km/1時間）

#### B) 最寄りバス停や周辺道路環境

##### ア) バス停

市街地循環バス 花城町

左回り10本 最終17:09、右回り10本 最終17:06

##### イ) 周辺道路環境

市道城内大通り一丁目線、市道上町坂本線

市道吹張花城町線 等

#### C) 駐車場

病院跡地に152台整備

図書館分152台増

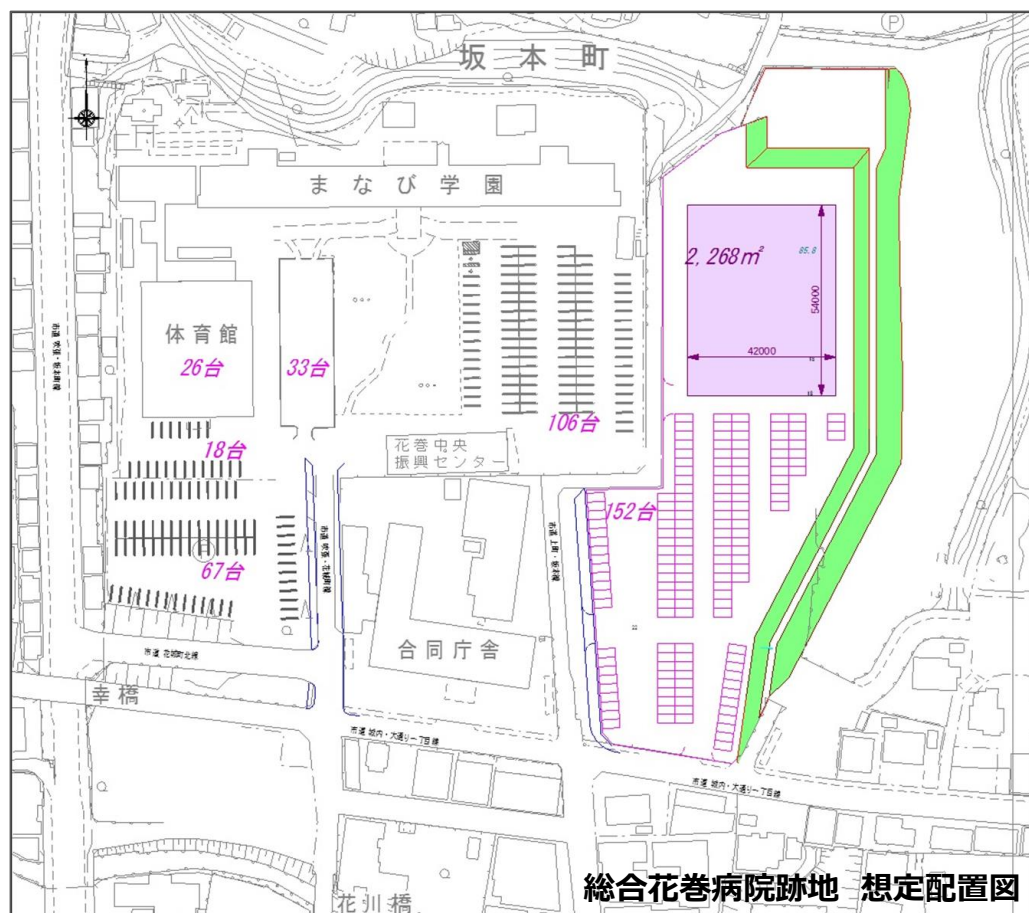
### ②図書館としての利便性の確保

#### D) 都市機能誘導区域内

#### E) 近接施設の利用者数等

まなび学園年間利用者数

R2:57,716人、R1:145,977人、H30:171,434人



## (2)その他特記事項

### ①総合花巻病院解体工事関係

- 解体工事
- 土地売買交渉
- 人工地盤

### ②周辺道路関係

- 都市計画道路計画
- 市道城内大通り一丁目線の拡幅  
住民説明と用地交渉が必要。

### ③埋蔵文化財保護について

- 駐車場跡地は、花巻城跡濁御堀内となっている。
- 保存活用については、濁御堀底面部（下部）の緑地化などを検討。

# Ⅳ－１ まなび学園周辺 総合花巻病院跡地に関すること

## (1)総合花巻病院の建物・施設の解体、人工地盤に関する状況

### 工事の概要

#### A) 工事場所

花巻市花城町4番28号

#### B) 工事対象面積

18,348.86㎡

#### C) 工事スケジュール

令和3年12月1日～令和5年3月末日

#### D) 土地の売買

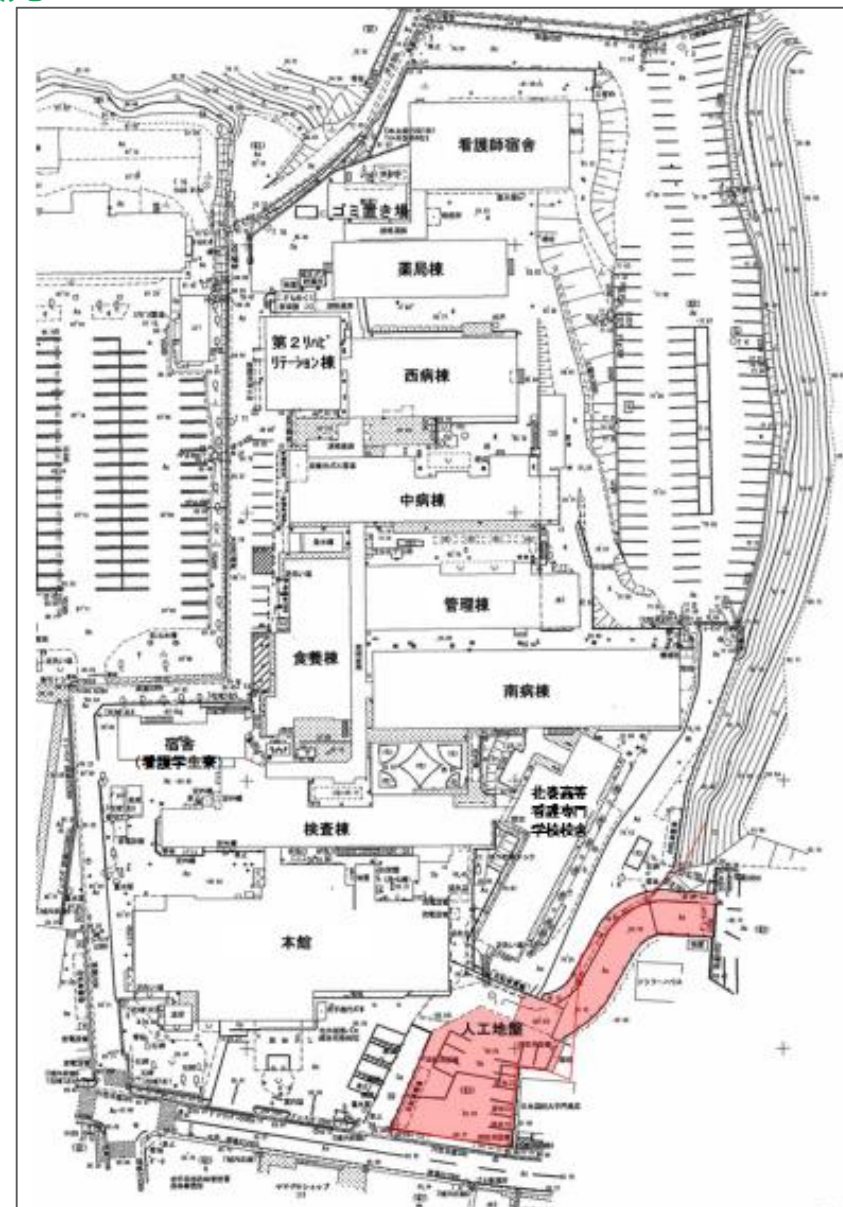
建物・施設解体後、花巻市と公益財団法人総合花巻病院双方が不動産鑑定評価を実施し、当該評価を基準として協議の上、決定。

#### E) 人工地盤の取扱い

敷地南東部（図面赤印）にある駐車場・車路

現段階では解体せず、3年後を目途に解体の上、市に譲渡。

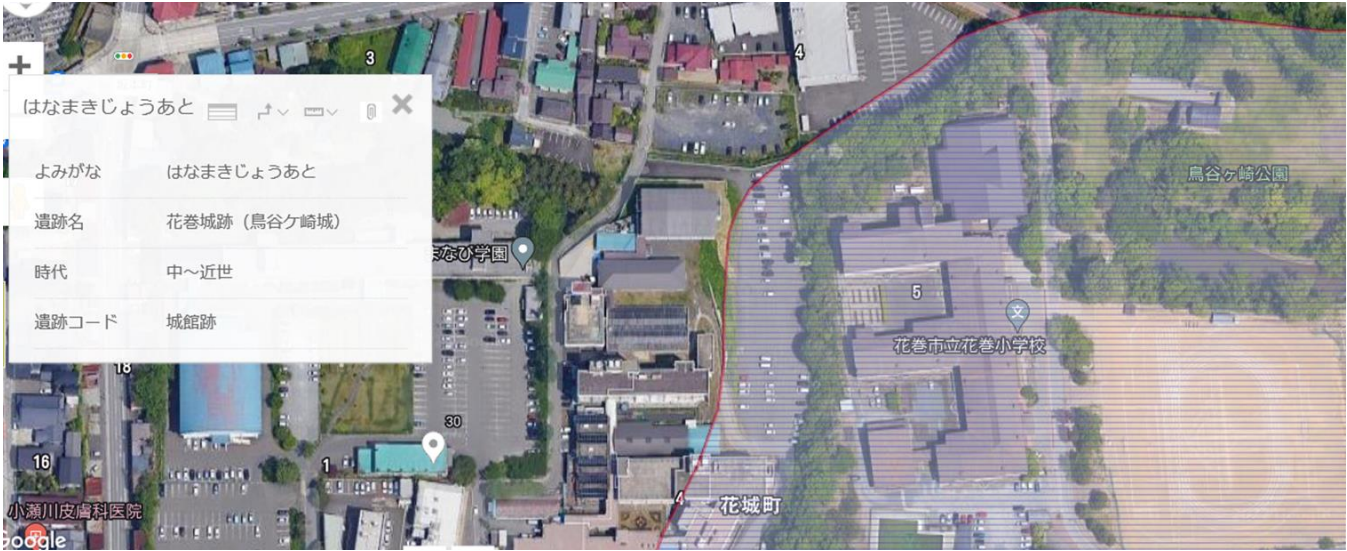
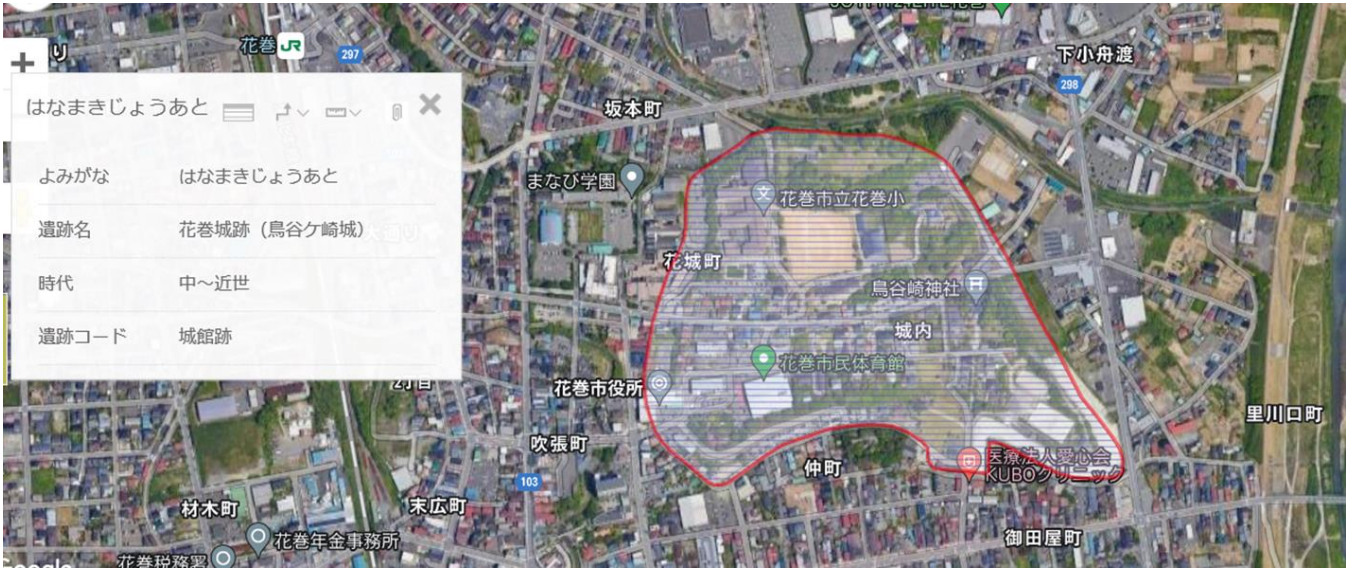
価格は、双方の不動産鑑定に基づき協議し決定。



令和3年10月25日 花巻市議会議員説明会資料転載

(2)市指定史跡 花巻城跡

- 総合花巻病院駐車場跡は、岩手県遺跡台帳に登録される花巻城跡の範囲で「濁御堀」。
- 花巻市教育委員会は、平成27年より花巻城跡調査保存検討委員会を設置し、調査保存の在り方を検討している。
- 保存活用については、「濁御堀」底面部（下部）の緑地化など可能性。



# IV-2 まなび学園周辺に関すること

## (2)『市道城内大通一丁目線』の交通安全対策

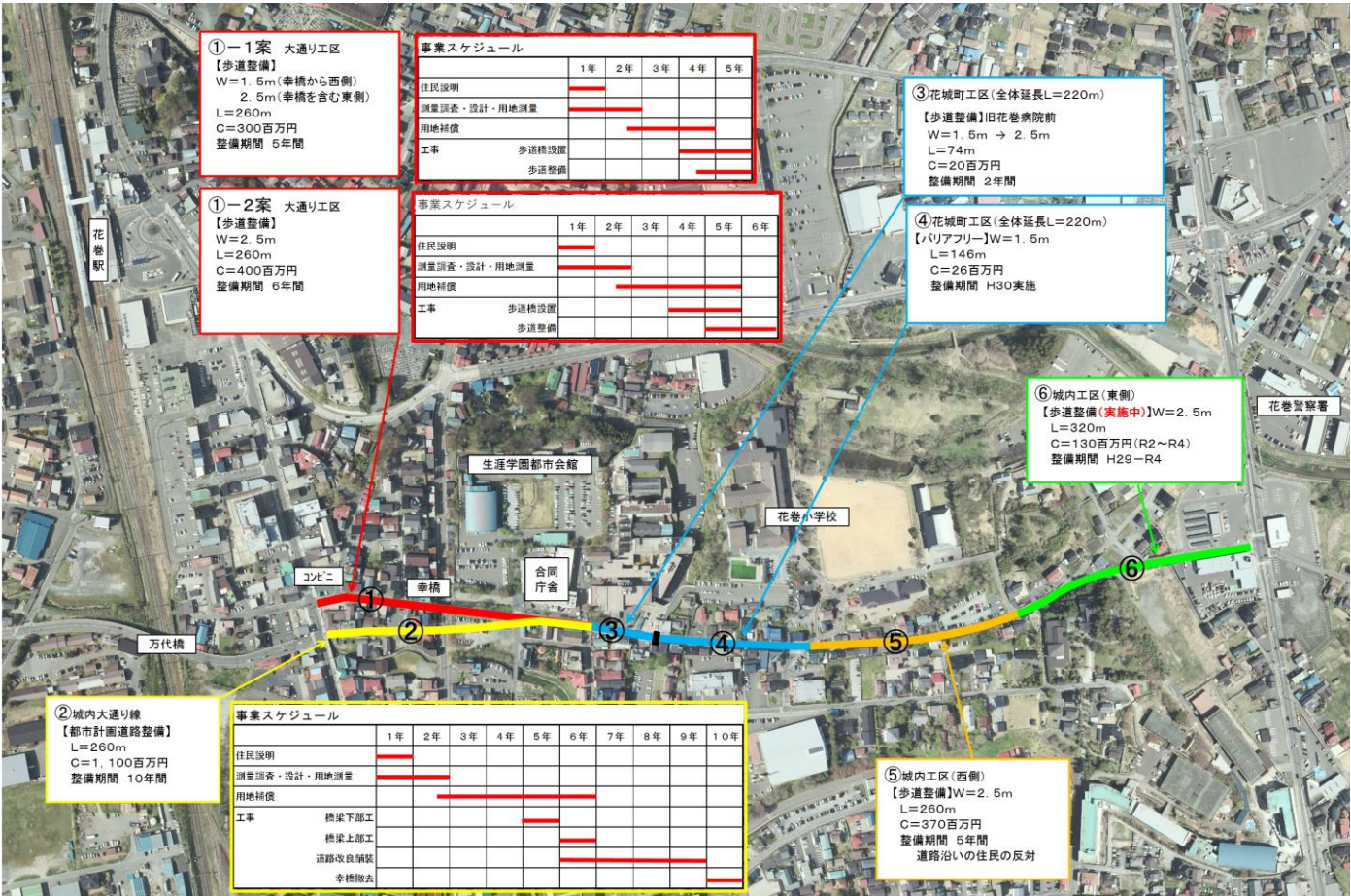
- 市道城内大通一丁目線(赤線)は、通勤・通学を目的とした利用者が多いが、歩道が無く危険であるため、早期に歩行者の安全確保対策が必要になっている。
- なお、市道城内大通一丁目線は都市計画道路(黄線)の計画があり、都市計画道路の整備か、現道への歩道整備かの住民合意が必要である。

### ① 現道への歩道整備

- 赤線：大通りコンビニ交差点から幸橋を通り合同庁舎への道路
- 事業期間は、1案では5年、2案では6年が見込まれる。
  - 歩道整備に周辺住民の理解と協力(建物移転3～5件)が必要。

### ② 都市計画道路の整備

- 黄線：万代橋から合同庁舎への直線道路
- 新しい橋梁建設や交差点改良など大規模な工事となり、事業費も膨大で事業期間も長期になる。
  - 都市計画道路と現城内大通一丁目線に高低差が生じ、道路北側住民の都市計画道路への乗り入れが不便になる。
  - 道路整備に周辺住民の理解と協力(建物移転12件)が必要。
  - 城内工区側(青・橙線)の住民合意が難しく、一体的な整備が困難である。



(1)比較項目

①図書館としての利便性の確保

A) J R花巻駅からの距離

約30m、約1分（徒歩4km/1時間）

B) 最寄りバス停や周辺道路環境

ア) バス停 平日13路線（上り92便、下り89便）

イ) 周辺道路環境 県道花巻和賀線

C) 駐車場 253台

新規：立体駐車場（2F）を整備 171台

新規：図書館前平面駐車場を整備 22台

既存：なはんプラザ東側市営駐車場 60台

→現状の平面駐車場が181台（①+②）のため  
72台増。

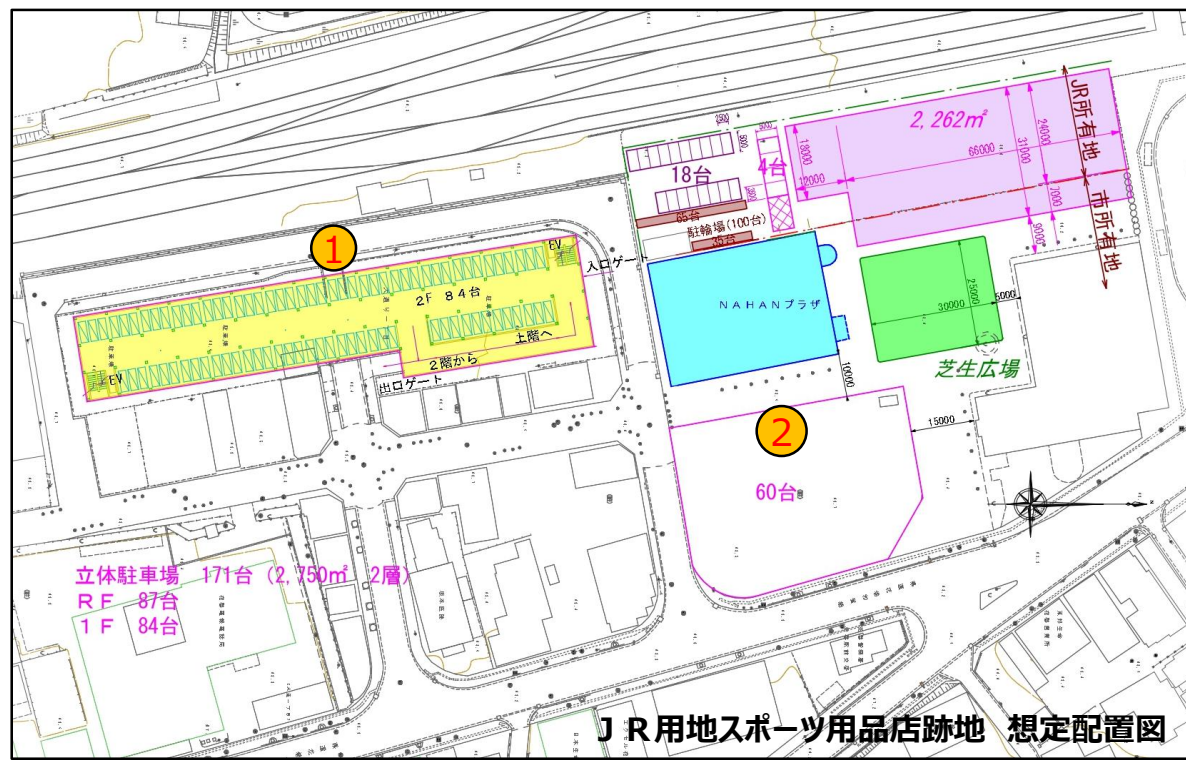
②図書館としての利便性の確保

D) 都市機能誘導区域内

E) 近接施設の利用者数等

J R花巻駅 乗者人数/1日 R2:3,269人、R3:2,8471人

[東北本線] 上り30便、下り35便 、[釜石線] 上り11便、下り10便



(2)その他特記事項

①用地関係

- J R用地スポーツ用品店敷地への建設は、当該用地の買収について J Rとの協議のうえ合意が必要である。
- スポーツ用品店解体費用の負担を求められる可能性が高い。

②駐車場

- ①駐車場の立体化が必要となる。
- J R敷地内に高齢者や障がい者向けの平面駐車場を確保することを検討する。  
なお、必要となる場合は、①の1階にも高齢者や障がい者向けの駐車場を確保することを検討する。

③橋上化・東西自由通路との関係

- 図書館の整備と J R花巻駅橋上化（東西自由通路）整備は、それぞれ別のものであるが、橋上化（東西自由通路）の整備を行い、西口に駐車場を整備できる場合には、東口の駐車場の必要台数について、西口の駐車場と一体として考えることができる可能性がある。

## (1)比較項目

### ①図書館としての利便性の確保

#### A) J R花巻駅からの距離

約30m、約1分（徒歩4km/1時間）

#### B) 最寄りバス停や周辺道路環境

##### ア) バス停

平日13路線（上り92便、下り89便）

##### イ) 周辺道路環境

県道花巻和賀線

#### C) 駐車場

立体駐車場 4F（1Fは幅広だと）305台  
現況より124台増（現況が181台のため）

### ②図書館としての利便性の確保

#### D) 都市機能誘導区域内

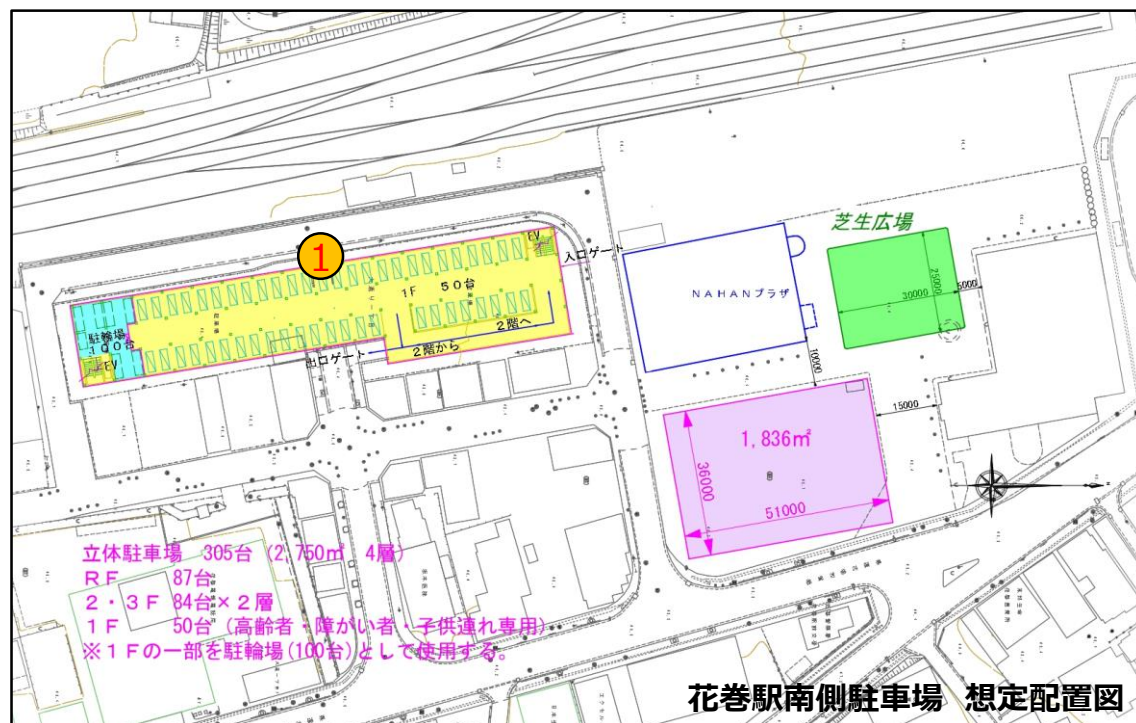
#### E) 近接施設の利用者数等

J R花巻駅

乗者人数/1日 R2:3,269人、R3:2,8471人

東北本線 上り30便、下り35便

釜石線 上り11便、下り10便



花巻駅南側駐車場 想定配置図

## (2)その他特記事項

### ①用地関係

- 敷地面積が少なく、3階建ての建物となる。

### ②駐車場

- ①駐車場の立体化が必要となる。  
（近接駐車スペースの設置も困難）
- 駅近接の駐車場がなくなる。
- ホテル利用による駐車場利用者の利便性が損なわれる。

### ③橋上化・東西自由通路との関係

- 東西自由通路の整備を行う場合、西口に一般駐車場を整備する可能性がある。

## VI 試案検討会議における建設候補地に関する意見集約

### 1.意見集約の経過

#### ①委員の意見を「試案検討会議における建設候補地選定に係る意見一覧」として整理

- 検討会議では「旧総合花巻病院跡地」と「JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地」の2つの意見に集約。
- その中でも「JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地」を希望するまたはどちらかという希望するとの意見が多数。
- 委員全体の共通した意見は「新しい図書館は多くの人に利用して欲しい」というもの。



#### ②試案段階の第一候補地を「JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地」に選定

- 駅は将来を見据えても交通の拠点となる場所
- 今まで図書館を利用していない人たちが利用する可能性大
- 計画室が提案した「JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地」を第1候補とすることに対して委員の異議はなかった。



#### ③市民等を対象にした説明会を開催

JR花巻駅周辺スポーツ用品店敷地と第1候補地として、JR東日本と具体的な交渉を行うために、建設場所に関する市民の合意形成を行うべく、市民や関係団体等に対して、説明会を開催する。